



「アートを入り口にしたこの映画の
出口には家族の日常が広がっていた。
なぜならその日常の中には
あらゆる不幸を喜びに反転させる
力が秘められていたのだ」
佐藤真

©Rinko Kawauchi

佐藤真監督作品

花子

35mm / カラー / 60分 / 2001年シグロ作品
山形国際ドキュメンタリー映画祭2001 特別上映作品

花子と母のアートする毎日

『まひるのほし』
『SELF AND OTHERS』の
佐藤真監督最新作
花子

今村花子(22才)は家族4人で京都に暮らしている。知的障害者のためのデイセンターに通う毎日を送る一方、週末には油絵描きに熱中し、毎晩食後は、畳をキャンパスにたべものを絵の具のように並べるという日課を欠かさない。花子に寄り添うのは、彼女のことをおもしろがる母、知左。花子のその「たべものアート」を6年前から毎日写真に撮り始め、その数は2000枚をこえた。そんな母娘の傍らで、父は芝居に三味線にと忙しい。長女の桃子は、絶妙な距離を保ちながら3人を見守っている。

4人それぞれのこだわりの日々を、忌野清志郎／ラフィータフィーによる熱いラブソング「ひとりの女性に」が楽しく包む――。

今朝の新聞に載っていた読者の投書欄です。〈ブランコに乗った5歳の娘が言いました。「おかあさん、ちょっと空に会ってくるねー」〉「ほおー」と思わずつぶやいて、ふと映画「花子」のことが頭に浮かびました。あの小さな家族にあった不思議な「ぬけ穴」のことです。

言葉の無い娘、花子さんの一見訳の分からない暴れん坊ぶりに一日中ひっかき回されながらも、淡々と豊かに日々を暮らすあの家族は、誰もがそれぞれ「ちょっと空に会って来る」ぬけ穴を持っているんだ。もちろん花子さんも持っている。家族って、時々そうやって単独飛行しながら絡み合い繋がり合っているのかもしれない。本人達は気づいてないのに、それが映画にはちゃんと写っている。

映画館を出た時、「つべこべ言わんと生きてみよう」なんてむらむらといい気になったのは、実は私も持っている「ぬけ穴」に気づいちゃったからかもね。

ドキュメンタリー映画なんてホント油断ならないものよ!

(はた・よしこ 絵本作家)



製作:山上徹二郎
監督:佐藤真
撮影:大津幸四郎
録音:弦巻裕
編集:秦岳志
編集協力:青山昌文
製作デスク:
筒木亜樹、田口敏之、石田優子
プロダクション・マネージャー:
佐々木正明
アソシエイト・プロデューサー:小川真由
宣伝:中円尾直子
宣伝美術:中島英樹
主題歌「ひとりの女性に」
(忌野清志郎／ラフィータフィー『秋の十字架』より)
日本芸術振興会 芸術団体等活動
基盤整備事業
DV・PAL→35mm/カラー/60分/
スタンダードサイズ/モノラル/
2001年シグロ作品
製作・配給=シグロ
<http://www.cine.co.jp>

川内倫子写真集『花子』

写真:川内倫子 文:佐藤真、川内倫子他

佐藤真と川内倫子、映画をきっかけにして実現した異色のコラボレーション――もう一つの「花子」。

映画のパンフレットを兼ねた写真集です。

(定価:1300円(税別) 発行:リトル・モア)

申込先:シグロ 〒164-0001 東京都中野区中野5-24-16 中野第2コーポ210

TEL:03-5343-3101 FAX:03-5343-3102



2002年1月12日(土)～1月25日(金) モーニングロードショー!

***** 連日 朝10:10より1回上映

特別前売鑑賞券発売中!

1200円

当日料金:一般 1400円
大学生・高校生 1200円
シニア・小人・中学生 1000円

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト4F
梅田ガーデンシネマ
06-6440-5977 www.cineplex.co.jp



佐藤真監督舞台挨拶!

1月19日(土) 上映終了後

花子「たべものアート」写真展

1月12日(土)～1月25日(金)

梅田ガーデンシネマ 無料

エントランスホールにて

1/18(金)～1/24(木)*1/22(火)休 「花子」関連企画+佐藤真特集 神戸アートビレッジセンター 078-512-5500 <http://kavc.or.jp>